

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覽表 ② (平成27年度版)

(様式2)

評価対象	評価項目	具体的数値項目	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
			①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	A	A	A	文化祭の実施年であり、様々な活動を一層充実させるよう努めた。	進学校として文武両道を実践し、結果を出しているのは素晴らしい。	一昨年から修学旅行と海外研修を始めたが、授業確保との観点から、学校行事の精選は課題である。
	2 充実した修学旅行を実践していますか。	① 2年次の修学旅行に80%以上の生徒が満足している。	未	A	A	体験型学習を取り入れ、より一層学びが深まった。	修学旅行は幅広い視野を持って日本を見ることを学ぶ良い機会です。	事前学習におけるLHRと総合的な学習の時間の活用の仕方。資料館見学時間の拡大。
	3 充実した研修旅行を実践していますか。	① 1年次の大学・企業訪問研修に80%以上の生徒が満足している。	未	A	A	各ゼミに関連している充実した研修旅行が実施できた。	地域の病院や報道関係、法曹関係、報道関係を利用すると良い。	模擬講義の内容について、事前学習をする時間を十分に確保する。
II 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	4 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 65分を有効に活用し、授業に80%以上の生徒が満足している。	B	A	B	生徒が主体的に活動することを目標に、授業を行うことに努めている。	公開授業を見て、生徒の学習意欲と先生の熱意に感心しました。	生徒の学力の多様化に合わせた指導が求められており、今後も指導形態を工夫し、改善を図っていく。
	5 生徒は確かな学力を身につけていますか。	① 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に2回以上実施している。	B	C	B	校内研修推進委員会を中心に計画を立てたが、各学年で2回は研究授業、授業研究が実施できなかった。	保護者の34%が「生徒が達成感・満足感を持っていない」と感じているようなので更なる尽力を期待する。	引き続き校内研修推進委員会を中心に、実施できるように計画していく。一層、生徒が主体的に活動するよう授業の改善を行っていく。
	6 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	C	B	B	3年生は受験が近づくと自然と学習時間が増えるが、1,2年生のうちから学習習慣をもっと定着させたい。	1年生の1学期で挫折してしまう生徒に、早めのフォローをしていただけたらと思います。	予習・授業・復習のサイクルの確立を引き続き徹底するとともに、主体的自立的な学習を促す工夫を組織的に進める。
III 生徒の充実した学校生活について、適切な指導をしていますか。	7 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、月に2回以上の生徒に関する情報交換を行っている。	A	B	B	学校不適応、心身の不健康の主たる原因は、本校の場合、対人関係よりも学力不振や学習への乗り遅れの場合が多い。学年や教育相談係、また支援会議や外部の専門家チームと連携して対応している。	学校不適応生徒への対応、発達障害の生徒への対応を組織的に行ってほしい。	不登校傾向、不適応、発達障害の生徒についての情報交換はすでに実施しているが、3年の進路検討会のような形で、1年生全員の情報交換会(管理職、進路、生徒指導、教育相談、学年)を1年の夏季休業までに実施してはどうかと考える。不登校にしても、発達障害にしても1年最初が重要であるので、早めに共通理解し、関わる教職員全体で心配な生徒に早期の対応を行って行きたい。
	8 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。 ② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	B	B	B	しかしながら、いったん不登校になってしまうと改善に困難を感じる。組織的、計画的な未然防止策を検討すべき時に来ていると判断している。	学習態度、生徒の挨拶・服装・身だしなみ等は、まじめで規律正しく、さすが前高生と感じます。心身の健康面で不安を持つ生徒のケアをしっかりやってほしい。	
	9 いじめ防止等の対策が適切に講じられていますか。	① いじめの事実が隠蔽されず、実態把握やいじめに対する措置、また、いじめ防止等の対策を適切かつ組織的にを行い、いじめのない学校を目指す。	A	A	A	本校では、いじめの芽生えるような土壌(学校環境)を作らないということを第一の対策としている。特活部や進路指導部と協力して、良好な人間関係や目標の共有といった意識を培わせている。	いじめ防止対策が不十分というアンケート結果であるが、具体的ないじめ対策の方法について保護者に周知する必要があるのではないかと。	前高web pageには、「いじめ防止基本方針」が掲載されており、いじめを芽生えさせない学校作り、早期発見するための働きかけ、報告があった際の対応とそのための組織等が詳しく掲載されている。他校の「いじめ防止基本方針」と比べてみてほしい。
	10 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。	① 部活動に95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合5位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。 ② 定期戦をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、意欲的に取り組めた生徒が80%以上である。 ③ 学校図書館の貸出冊数が6,000冊を超えている。	A	A	A	部活動加入率108%であり、県総体総合2位、関東大会以上に9部活動が出場した。 アンケートによれば、学校生活に満足している生徒が85%である。 2年生が昨年より1,000冊ほど伸びて、貸出6,000冊は達成される。	部活動への参加率が高く、部活で忙しいから勉学に差し支えるといった考えがなく、部活動や学校行事で活躍する生徒が入試で良い結果を出しているのは素晴らしいです。定期戦逆転勝利は同窓生としても爽快です。高校総体2位、剣道部や卓球部のインターハイ出場、軟式野球部の関東大会2位等の活躍は素晴らしいです。	加入率についてはここ数年高い値を示しているが、より高い活動内容の充実を目指して生徒の自主性を育んでいきたい。 各行事の実行委員の生徒と一般生徒ととの意識の差が見られるので両者の協調性を図り、より充実した活動を促したい。 後半に貸出が減少する傾向にある。総合学習以外の教科学習との関連を深めたい。
IV 生徒の主体的な進路選択について、適切な指導をしていますか。	11 計画的な指導を行っていますか。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施している。 ② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	A	A	A	年度当初の計画をほぼ予定どおり消化できた。 予定どおり作成、配付できた。HRや個別指導でも活用している。	「適切な進路指導している」と思わない保護者が10%以上いるので、この意味を考えて指導に活かしてほしい。 進路情報提供等は適切に指導が行われていると思う。	引き続き生徒の実態に即した内容を検討し、計画的に進めていく。 大学入試をとりまく状況や本校生の志望動向など、生徒や保護者のニーズに合った情報を提供していきたい。
	12 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。	未	A	A	志望校検討会や個別面談等を通して生徒個々に応じたきめ細かい指導を行っている。	結果は合格率で評価されるので、十分な意思疎通を図り、所期の目標を達成していただきたい。	志望校検討会による教員間の情報共有とそれに基づいた個別指導をさらに充実させていきたい。
	13 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	① PTA総会・学年別懇談会等に70%以上の保護者が参加している。 ② 「前高web page」の内容を月2回更新し、学習・進路・部活動等各種情報を発信している。	C	B	B	学年別懇談会の参加率に比べPTA総会は減少傾向にある。内容、日程等の検証も必要である。 部顧問の協力により、多くの部活動を更新できた。そのため他の更新が相対的に減少してしまった。	保護者の参加率が低いので、日程・方法等を工夫していただきたい。家庭状況の影響も考えられる。ホームページは以前と比べ充実している。学校生活の様子を写真で伝えてほしい。	PTA新聞および母の会行事は家庭と学校の連携に貢献している。生徒主体の教育環境作りについては尚一層の共通理解を深めたい。 生徒の学校生活が伝わる各種行事の情報発信を増やすことが課題で、そのためには各分掌・係との役割分担を行うことも必要である。
14 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	A	A	A	同窓会や地域と連携して積極的にキャリア教育に取り組む。	家庭・地域社会との連携に充分に行われている。	引き続き同窓会や地域と連携し、有意義なキャリア教育を実践していく。	
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	15 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、交通事故ゼロを目指して指導する。	B	B	B	安全な運転中の事故が半数を占めている。早朝の余裕を持った登校、大通りの通行などを働きかけた。	交通事故は、引き続き、厳しく根気よく指導してほしい。家庭と連携し、一層の安全指導をお願いしたい。	早朝登校での安全性と早朝学習での実力向上、周囲への配慮と危機回避意識など、交通事故防止が人間力全体を向上させる点を協調し、指導していく。
	16 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 毎月安全点検を実施する。また、年2回、防災避難訓練を行う。	A	A	A	休み時間中に防災避難訓練を設定し、生徒の自主性を喚起することができた。	安全面においては適切な指導が十分になされている。	次年度は避難訓練時に経路に通過できない箇所を設定するなど、さらに工夫していきたい。
	17 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	A	A	A	エビペン処方箋の生徒に対して、職員との必要な情報の共有を図るとともに、職員研修を実施した。	一人ひとりの安全意識の向上をさらに高めてほしい。	感染症等の情報を適宜伝えるとともに、AED等の研修会が職員中心であった今年度計画を受け、次年度は生徒対象の研修会を充実させていきたい。

注：達成度をA～Dの4段階で記入する。A：十分に達成できた B：達成できた C：もう少しで達成できた D：達成できなかった